

## 学校だより 7・8月号



## 地域とともにある学校

校長 毛利 友紀

正門前の鉢植えの植物が日に日に大きくなり、生命力を感じます。梅雨の晴れ間に校庭で活動する子どもたちも、生き生きと過ごしています。6月7日からの3日間、三浦YMCA グローバル・エコ・ヴィレッジでの自然教室を終えた5年生が、たくましく成長して帰ってきました。活動中にフィリピン付近で発生した地震により津波注意報が発令され、緊迫した状況の中で避難行動をとったり、予定変更を余儀なくされたりといった場面もありましたが、子どもたちは実に落ち着いて行動することができました。毎月の避難訓練の成果が、まさに命を守る行動として実を結んだ瞬間であり、訓練や防災教育の重要性を改めて認識した出来事でした。

また先日は、本校第13代PTA会長土方茂様のご厚意で、1年生が梅の実拾いをさせていただきました。子どもたちは、持ち帰った実と氷砂糖を合わせ、梅ジュースが飲めるのを心待ちにしています。「いつもお世話をしてもらっている6年生にも飲ませてあげたい」という子がおり、その優しさに心が温かくなりました。日本の伝統的な「梅仕事」を通して、手間や時間をかける喜びや自然の豊かさを五感で学び、心に残る夏の思い出となったはずです。

6月20日、麻生市民館で行われました第41回麻生音楽祭のスクールコンサートには、本校を代表してスクールコーラスとスクールバンドの児童が参加しました。子どもたちが自分なりにその曲をどう演奏するか、各々が意図をもって表現しようとしていたことが伝わり、素晴らしかったです。たくさんのお客さんを前にしても笑顔で手を振り「楽しかった」と言う子どもたち、そして、熱心に指導や運営に関わってきた本校の教職員にも、心から賞賛の気持ちを表したくなるひとときでした。日頃から活動を支えてくださっている保護者の皆様にも、改めて感謝申し上げます。

6月24日に行われました金程中学校区学校運営協議会では、金程中学校校長 金子清様、金程小学校校長 芦刈竜哉様、協議会会長 長嶋亨様をはじめ、委員の皆様、各校の先生方にご参加いただきました。授業参観後、皆様からは「子どもたちがメリハリをもって学習していた」「分からない子も『分からない』と言える雰囲気だった」「ICT機器を活用し、楽しく学べる工夫がされていた」など大変励みになるご感想をいただきました。さらに「昨年度は三校で書初めの交流をしたように、総合的な学習などでも交流をしたい」「地域人材の活用を進めたい」など、とても前向きなご意見も頂戴いたしました。

他にも、「子どもたちが未来を切り開いていくために身に付けていってほしい力」について参会者それぞれの視点から語り合う中で、「お釣りの概念を知らない子や蝶結びができない子がいる」というお話がありました。キャッシュレス決済やハンズフリーシューズなどがその一例ですが、私たちの生活を便利にしてくれる一方で、知識や技能の喪失を招く一面があるということも実感せざるを得ませんでした。しかしながら、目まぐるしく変化する現代は、人間ならではの感性を働かせて社会や生活をより豊かなものにしたり、現在では思いもつかない新しい未来の姿を構想し実現したりしていくことができる、いわば「可能性の時代」でもあるとされています。だからこそ、子どもたちが主体的に学び、自ら考え課題解決に向かう姿が見られるよう、今後も保護者や地域の皆様のお力をお借りし、近隣校とも連携しながら「地域とともにある学校」の実現を図っていきたいと考えます。

先月号でも触れましたが、子どもたちのスマートフォンの利用については、本校でも友人の画像を無断で編集し、グループ内に送信するといった事案が発生しました。デジタル社会の闇の部分において、子どもたちが加害者にも被害者にもならないために、大人が子どもたちを守らなければなりません。学校での情報モラル教育も継続しますが、ご家庭でも今一度ルールの徹底、管理、指導もお願いいたします。夏休み明けになりますが、6年生向けに実施予定の麻生高校メディア研究部による「非行防止教室」では、いじめや犯罪につながるSNS利用に関する内容も盛り込んでくださるそうです。

夏休み期間中は、A棟の1・2階の工事(R7年度から4年間の計画)が行われます。床や壁、扉などの内装が再生整備され、より使いやすい環境になります。期間中は工事車両の出入りや作業音などで、保護者や地域の皆様にはご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

「あ、そうっか 麻生区長寿日本一」7月号(麻生区役所地域みまもり支援センターより)

日焼けとビタミンD - こどものうちに十分骨量を蓄えて! -

カルシウムの吸収を助けるビタミンDは紫外線に当たると生成されますが、日焼けも心配です。ビタミンD産生のためにどのくらい太陽にあたると良いか、また、どのくらいで日焼けになるか、「ビタミンD生成・紅斑紫外線照射時間」で検索してみてください。